

# 2025年 ほし組生活発表会

# No.1

## 「みんなでおでかけ、どこに行く？」



### 大型ブロックをつなげてみると・・・



ほぼ全員が初めての集団生活となるほし組の子どもたち。入園当初の4月はお家の方と離れた後に寂しさが続いたり緊張した表情が多かったりしましたが、遊び方に馴染みのあるブロックなどを見つけると、思い思いに遊び始める姿が見られました。保育室に置いている大型ブロックも最初は一人で黙々とつなげていましたが、その大きさも相まっていつのまにか友達作品ともつながり、それをきっかけに「もっと長くしよう！」「電車にしようか！」などという声も聞こえてきました。

保育者やお友だちとのやりとりも生まれ、遊びを通じた想像の世界が広がる中、「(ブロックで作ったバスで)動物園に行こう！」の声も聞こえてきました。そんな声に応えるようにそそくさと自分の荷物を背負うと「準備できたよ！出発進行！」と作ったバスに乗り込み、いざ動物園へ出発！子ども達同士で同じようなイメージを持ちながら楽しんでいる様子が伝わってきました。友達同士の関わりが自然に生まれ、遊びながら期待や想像を膨らませていく子ども達の姿に、これからの成長を感じました。

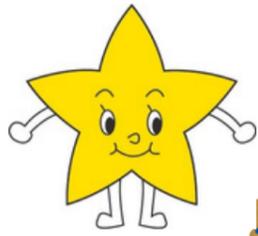


### ダンボールって楽しいね！



ほし組では、ダンボールを使った活動が盛り上がっています。1学期は箱に入ってみたり、トンネルのようにしてみたりと、それぞれでダンボールの遊び方や面白さを見つけていました。2学期になると「つなげてみよう！」とか「一緒に入ってみる？」と友達に声をかけ合う姿が見られるようになり、ダンボールを並べて電車を作ったり、部屋のように組み合わせたりと、友達と力を合わせて1つのものを作りあげる楽しさも感じているようです。素材の面白さに惹かれながら、友達同士のやりとりや協力する姿が豊かになった活動になりました。





# 2025年 ほし組生活発表会 No.2

自分達でも作ってみたい!



大型ブロックで遊ぶ経験を経て、「自分達でもバスを作りたい!」と声があがり、子ども達と“バス作り”に取り組むことになりました。牛乳パックを組み合わせてベースの形を作り「どんなバスにする?」と問いかけながら、まずは赤色、青色、白色、黄色など準備した絵の具から自分の好きな色を選択して塗り進めます。

単色で塗ることにこだわりを見せる子もいれば、塗った色の上にさらに別の色を重ねてみながら「どんな色になるかな?」「ピンクになった!」「紫になったよ!」と色の変化も楽しみながら筆を動かしていました。絵の具が濁った後には色画用紙を使って飾り付け。大型ブロックでの遊びをきっかけに画材や素材の性質を味わいつつ製作活動を楽しみました。



ワクワクドキドキ発表会活動



発表会活動が始まり、子ども達はワクワクした様子で毎日楽しんでます。ホールに行くと舞台へとつながる大きなスロープに興味津々の子ども達。遊ぶ前には「スロープで遊ぶときのお約束」をみんなで確認し、いざ滑ってみると、子ども達は目を輝かせながら滑り降り、「もう一回!たのしい!」と繰り返し挑戦する姿が見られました。

スロープ遊びの後は、お部屋でもしていた“変身ごっこ”!ホールといういつもと違う広い環境ではありましたが、ゾウやうさぎ、カエルなど、子ども達が大好きな動物になりきり体を大きく動かしたり、表情いっぱい表現したりしながら楽しんでいました。発表会の日はお家の人が見に来るんだよと話す、ワクワクもあったり、ドキドキもあったり。当日は子どもたちの成長を感じながら温かく見守って頂けるとありがたいです。

